

2019年12月25日

フィリピン・コーラルベイニッケル社が ASEAN ミネラルアワード第1位を獲得

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 野崎 明）の子会社であるコーラルベイニッケル社（以下「CBNC」）は、このたび東南アジア諸国連合（ASEAN）より、2019年のASEAN ミネラルアワード（ASEAN Mineral Awards、以下「AMA」）を受賞し、金属製錬部門において、持続可能な鉱物開発のベストプラクティス企業として第1位を獲得しました。

本表彰は、ASEAN 加盟 11 カ国が部門ごとに代表 1 社を推薦し、そこから審査・選抜された 3 社による最終選考により受賞企業が決定となります。CBNC はフィリピン政府より金属製錬部門の代表企業として推薦を受け、2019年12月11日-13日にタイ・バンコクでの鉱物に関するASEAN閣僚会議の開催にあわせて行われた最終選考を経て、受賞しました。

AMA は、ASEAN 各国の資源産業促進のため、鉱業製錬業に優れた企業を表彰するものです。表彰制度の運用は2017年に始まり、今回で2回目となります。

CBNC では、周辺地域のインフラ整備、雇用の拡大、資材の現地調達などを通じた社会貢献、また、環境負荷を最小限に抑えた操業、環境事故の防止、テーリングダムの緑化による生態系の回復など、生物多様性の保全を図りながら、責任ある操業に努めています。

<表彰式の様子>



左：CBNC 副社長（環境担当）Arturo Manto
中央：CBNC 社長 神谷 雅博
右：Mr. Dheerayut Varnitshang
Vice Minister Ministry of Industry Kingdom of Thailand

<コーラルベイニッケル社（CBNC）について>

フィリピン南西部のパラワン島にある CBNC では、HPAL※技術により、これまで資源化が困難だった低品位ニッケル酸化鉱石からニッケルとコバルトを抽出し、中間原料を製造しています。2005 年から生産を行っておりここで製造した中間原料は当社グループの日本国内拠点へ供給され、近年、電気自動車の普及に伴って注目を集めるリチウムイオン電池の正極材などに利用される高純度なニッケル製品となります。

※HPAL(High Pressure Acid Leach：高圧硫酸浸出)とは

高温高圧のオートクレーブで硫酸を使って酸化鉱からニッケル、コバルトを抽出します。オートクレーブ内の状態をコントロールすることが難しいため、これまで商業的に成功した例がありませんでしたが、制御方法など多くの技術的課題を解決し、当社は世界で初めて商業生産に成功しました。2007 年には「日経ものづくり大賞」、2009 年には「大河内記念生産賞」を受賞するなど、世界トップクラスの高効率な生産を実現しています。

以上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報IR部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL: 03-3436-7705 Eメール: smm_koho@smm-g.com